

リニア・地下水問題学習会

岐阜 生活環境への影響危惧

「リニア・徳山ダム導水路学習会」が15日に岐阜市で開かれました。主催は、「リニア



と徳山ダム導水路を考
える会」です。75人が
参加し、現在県内で進
められつつある二つの
大きな事業について
「本当に必要なのか、
大丈夫なのか」とみん
なで学び考えました。
学習会では、「リニア
アを考える坂本住民の
会」の大嶋晋一事務局
長と、長良川市民学習
講師の話聞き、意見
交流する参加者ら15
日、岐阜市

会の武藤仁事務局長が
講師を務めました。
大嶋氏は、リニア建
設のトンネル工事によ
って発生した水枯れと
地盤沈下の問題、残土
処分場の未確保、不適
切な「要対策土」対策
など、自然環境に及ぼ
す影響をいくつも指
摘。加えて、岐阜県駅
周辺での騒音や日照被
害など、「生活環境へ
の影響が危惧される」
と語りました。

武藤氏は、徳山ダム
の水を長良川・木曾川
に流す目的とされてい
る「渇水時の水量確保
・都市用水の供給」に
ついて合理性がないと
説明しました。
トンネル工法が変更
され、事業費は2・55
倍と大きく増加してい
ます。そのうえで武藤
氏は、懸念される環境
被害は岐阜県が負うこ
とになる指摘。「『木曾
川水系連絡導水路事
業』は徳山ダム事業の
取り纏いです。どこか
で断ち切らないといけ
ない」と力説しまし
た。

2024/12/19 しんぶん赤旗

徳山ダム導水路と リニアを考える



勉強会で解説するリニアを考える坂本住民の会の
大嶋晋一事務局長。岐阜市八代市北部コミュニ
ティセンター

岐阜市民ら70人が勉強会

「リニアと徳山ダム導水
路を考える会」は、リニア
中央新幹線と、徳山ダム掘

代市北部コミュニティセ
ンターで開催した。市民ら
約70人が参加し理解を深め
た。
リニアを考える坂本住民
の会の大嶋晋一事務局長と
長良川市民学習会の武藤仁
事務局長がそれぞれ講演を
行った。
大嶋事務局長は瑞浪市大
湫町のリニア中央新幹線日
吉トンネル掘削工事現場で
続く湧水について、周辺は
主に濃飛流紋岩類や花こう
岩が分布しているなどと解
説。地下水位低下との因果
関係を調べるため「地質調
査をより厳密にする必要が
ある」と訴えた。
勉強会ではそのほか、武
藤事務局長が徳山ダム導水
路事業の総事業費が従来想
定の約2・5倍になった要
因などを解説した。

2024/12/21 岐阜新聞